附表1　耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
指針第1 第二号に定める建築物の耐震診断の方法	Is<0.3 又は q<0.5	左右以外の場合	0.6<Is かつ 1.0≦q

附表2　耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震 診断基準」に定める「第2次診断法」及 び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso<0.5 又は CTU・SD< 0.15・Z・G・U	左右以外の場合	1.0≦Is/Iso かつ 0.3・Z・G・U≦ CTU・SD

Ⅰ　地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
Ⅱ　地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
Ⅲ　地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

(※)震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生じるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。